



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション
コード番号 6392 URL <http://www.yamadacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,262	△8.4	304	△25.3	300	△34.4	209	△32.0
28年3月期第2四半期	4,652	0.5	407	△26.6	457	△18.0	308	△16.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 7百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 320百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	17.51	—
28年3月期第2四半期	25.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,137	7,164	68.0
28年3月期	10,518	7,241	66.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,896百万円 28年3月期 6,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	△7.3	570	△32.0	570	△41.2	380	△39.4	31.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	12,000,000 株	28年3月期	12,000,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	26,747 株	28年3月期	25,072 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	11,973,533 株	28年3月期2Q	11,975,237 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済の動向としては、米国では、引き続き個人消費主体に堅調が続いており、生産、投資にやや減速傾向がみられるものの、経済は緩やかに拡大し、欧州では、消費、投資など景気は低位ながら回復基調は続いております。また、中国をはじめとする新興国の景気は、引き続き緩やかに減速傾向にあります。その他、南米のブラジル、ベネズエラあるいはロシアなどは引き続き経済の低迷が続いております。

一方、日本経済の動向は、円高や輸出の伸び悩み、原油の動向などが懸念材料ながら全体としては、景気持ち直しの傾向となっております。

こうした中、当社グループにおいては、国内市場のオートモティブ部門で新製品の全自動フロンガス交換機の販売が好調を維持したものの、海外部門では主力製品であるダイアフラムポンプが伸び悩み、円高の影響等もあり低調な推移となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は4,262百万円(前年同期比△389百万円、8.4%減)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は1,228百万円(前年同期比39百万円、3.3%増)、インダストリアル部門は2,433百万円(前年同期比△370百万円、13.2%減)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は601百万円(前年同期比△58百万円、8.8%減)となりました。

利益面では、売上総利益は1,633百万円(前年同期比△206百万円、11.2%減)となり、営業利益は304百万円(前年同期比△103百万円、25.3%減)、経常利益は300百万円(前年同期比△157百万円、34.4%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は209百万円(前年同期比△98百万円、32.0%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は2,545百万円(前年同期比△72百万円、2.8%減)、営業利益は87百万円(前年同期比△27百万円、24.1%減)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は1,140百万円(前年同期比△279百万円、19.7%減)、営業利益は137百万円(前年同期比△52百万円、27.5%減)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は436百万円(前年同期比△32百万円、6.9%減)、営業利益は54百万円(前年同期比△17百万円、24.0%減)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は139百万円(前年同期比△5百万円、3.5%減)、営業利益は9百万円(前年同期比△3百万円、26.0%減)となりました。なお、平成28年7月に、海外子会社 YAMADA (THAILAND) CO., LTD. をタイ王国に設立しましたが、現在のところ業務を開始しておりません。

また、当第2四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は2,022百万円(前年同期比△306百万円、13.2%減)で、その割合は47.5%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は10,137百万円となり、前連結会計年度末に比べ381百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少(△191百万円)、有価証券の減少(△50百万円)、原材料及び貯蔵品の減少(△33百万円)、有形固定資産の減少(△116百万円)等によるものであります。

負債合計は2,972百万円となり、前連結会計年度末に比べ304百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(△158百万円)、長短借入金の減少(△81百万円)、退職給付に係る負債の減少(△10百万円)等によるものであります。

純資産合計は7,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の増加(125百万円)、為替換算調整勘定の減少(△192百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは461百万円の純収入(前年同期は125百万円の純収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益300百万円、売上債権の減少による145百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは112百万円の純支出(前年同期は196百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による125百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは178百万円の純支出(前年同期は179百万円の純支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による76百万円、配当金の支払による83百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、平成28年11月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる想定為替レートにつきましては、1米ドル102円、1ユーロ112円としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,501,786	2,648,503
受取手形及び売掛金	1,685,406	1,494,112
有価証券	50,840	—
商品及び製品	1,362,364	1,334,727
仕掛品	304,657	314,120
原材料及び貯蔵品	525,628	492,007
繰延税金資産	132,505	119,749
その他	187,108	102,480
貸倒引当金	△8,320	△7,099
流動資産合計	6,741,976	6,498,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,568,866	1,508,552
土地	1,190,257	1,178,779
その他（純額）	593,623	549,016
有形固定資産合計	3,352,746	3,236,347
無形固定資産	49,705	38,938
投資その他の資産	374,438	363,542
固定資産合計	3,776,890	3,638,828
資産合計	10,518,867	10,137,431
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,370,549	1,212,055
短期借入金	120,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	192,484	176,852
未払法人税等	36,539	33,600
賞与引当金	123,050	125,586
未払費用	138,461	130,767
その他	106,493	70,152
流動負債合計	2,087,577	1,864,014
固定負債		
長期借入金	453,397	392,575
繰延税金負債	228,663	222,576
退職給付に係る負債	393,965	383,457
資産除去債務	20,349	20,349
長期未払金	32,270	32,270
その他	61,079	57,691
固定負債合計	1,189,726	1,108,919
負債合計	3,277,303	2,972,934

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	6,157,108	6,282,921
自己株式	△5,435	△5,929
株主資本合計	6,809,860	6,935,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,781	71,087
為替換算調整勘定	83,124	△109,832
その他の包括利益累計額合計	163,905	△38,744
非支配株主持分	267,797	268,061
純資産合計	7,241,563	7,164,496
負債純資産合計	10,518,867	10,137,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,652,147	4,262,451
売上原価	2,811,312	2,628,528
売上総利益	1,840,834	1,633,922
販売費及び一般管理費	1,433,161	1,329,338
営業利益	407,673	304,584
営業外収益		
受取利息	893	559
受取配当金	8,614	8,574
負ののれん償却額	2,445	2,445
為替差益	27,557	—
不動産賃貸料	3,681	16,622
その他	23,679	3,722
営業外収益合計	66,872	31,924
営業外費用		
支払利息	7,149	2,612
売上割引	6,640	6,347
為替差損	—	25,063
その他	3,058	2,443
営業外費用合計	16,848	36,466
経常利益	457,697	300,041
特別利益		
固定資産売却益	331	—
特別利益合計	331	—
特別損失		
固定資産処分損	2,030	—
特別損失合計	2,030	—
税金等調整前四半期純利益	455,997	300,041
法人税、住民税及び事業税	139,154	84,365
法人税等調整額	7,741	5,774
法人税等合計	146,895	90,140
四半期純利益	309,102	209,901
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,034	264
親会社株主に帰属する四半期純利益	308,068	209,637

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	309,102	209,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,638	△9,693
為替換算調整勘定	14,881	△192,956
その他の包括利益合計	11,243	△202,650
四半期包括利益	320,346	7,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,311	6,987
非支配株主に係る四半期包括利益	1,034	264

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	455,997	300,041
減価償却費	154,815	173,046
負ののれん償却額	△2,445	△2,445
受取利息及び受取配当金	△9,508	△9,133
支払利息	7,149	2,612
売上債権の増減額(△は増加)	37,682	145,133
たな卸資産の増減額(△は増加)	△111,254	△58,239
仕入債務の増減額(△は減少)	△81,438	△91,318
その他	△58,287	27,072
小計	392,710	486,769
利息及び配当金の受取額	9,508	9,133
利息の支払額	△7,135	△2,588
法人税等の支払額	△269,950	△31,776
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,132	461,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,504	△505
定期預金の払戻による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△199,402	△125,881
有形固定資産の売却による収入	9,910	—
投資有価証券の取得による支出	△1,307	△1,541
その他	△218	14,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,022	△112,641
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	127,000	169,000
短期借入金の返済による支出	△115,000	△174,000
長期借入金の返済による支出	△93,102	△76,454
配当金の支払額	△81,292	△83,465
その他	△16,636	△13,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,031	△178,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,591	△74,677
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△246,330	95,871
現金及び現金同等物の期首残高	2,822,639	2,521,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,576,308	2,617,778

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	オランダ	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	2,618,703	1,420,331	468,874	144,237	4,652,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	982,208	31,322	4,193	—	1,017,724
計	3,600,912	1,451,653	473,068	144,237	5,669,871
セグメント利益	115,772	190,248	71,560	13,213	390,794

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	390,794
セグメント間取引消去	△1,859
棚卸資産の調整額	18,737
四半期連結損益計算書の営業利益	407,673

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	2,545,926	1,140,851	436,520	139,153	—	4,262,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	927,955	30,084	3,889	—	—	961,929
計	3,473,881	1,170,935	440,409	139,153	—	5,224,381
セグメント利益又は損失(△)	87,845	137,893	54,381	9,772	△3,095	286,796

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	286,796
セグメント間取引消去	△37,306
棚卸資産の調整額	55,093
四半期連結損益計算書の営業利益	304,584

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間に YAMADA (THAILAND) CO., LTD. を設立し、連結子会社としたことから、新たな報告セグメントとして、「タイ」を追加しております。